

○弓削公子

[目的] 前報では、鞠袴について意匠学的見地から報告したが、今回は、縫製を中心とする構成学の面に沿って他の袴との比較関連を究明した。

[方法] 京都国立博物館、京都府資料館、かすみ会館（旧華族会館）、井筒、平野神社、天理参考館、東洋きもの専門学校在所蔵試料を実測調査した。

[結果] 京都国立博物館所蔵の最古の資料である江戸時代の嘉永6年の紅袴をはじめとし、明治、大正、昭和初期、平成の現在に至るまでの、鞠袴35点の中10点にしぼり、調査した結果、次の点が判明した。

(1) 相違点では、前後の腰巾、投げと相引の長さの割合、前裾と後裾の乗り間の襠の位置、單と裏付、袴の引き返しと三つ折り、各部位の縫製方法、前後のひだの数と幅など。

(2) 類似点では、裁断方法や各ひだの折り方向などがあげられる。

以上から使用目的により動的と静的形体の差がみられた。